

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPU/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大幸薬品京都工場	階数	地上3F
建設地	京都府相楽郡精華町光台1丁目2-	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	100 人
気候区分		年間使用時間	1,900 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年7月 0.0	評価の実施日	2014年4月1日
敷地面積	21,432 m <sup>2</sup>	作成者	千屋伸郎
建築面積	3,291 m <sup>2</sup>	確認日	2014年4月1日
延床面積	8,870 m <sup>2</sup>	確認者	曾根奨



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	99%
③上記+②以外の	99%
④上記+	99%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>医薬品工場であるが故に、採用できる項目は限られてはいるが、太陽光発電設備や節水型衛生器具を導入し、環境負荷の低減を図っている。また、設備機器の更新に配慮し、フレキシビリティの高い工場計画としている。</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>空調ゾーニングを適切に行い、取入外気は周囲環境に配慮して位置を設定している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>空間は余裕のある設定としている。設備機器の更新性にも配慮している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>太陽光発電設備を導入している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水型衛生器具を採用し、水資源保護に努めている。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>敷地外環境へは標準的な取組みを行っている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される